

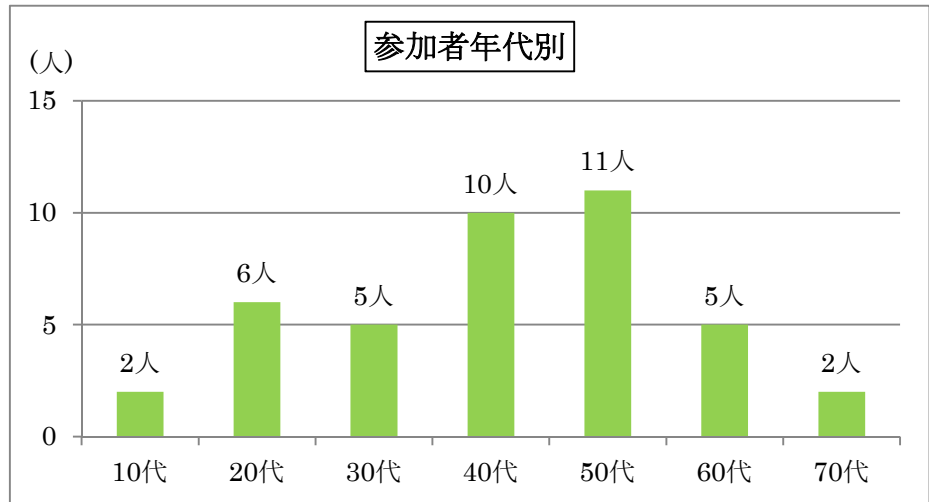
今こそ考えよう 共生（インクルーシブ）教育 第5回

《アンケート集計》

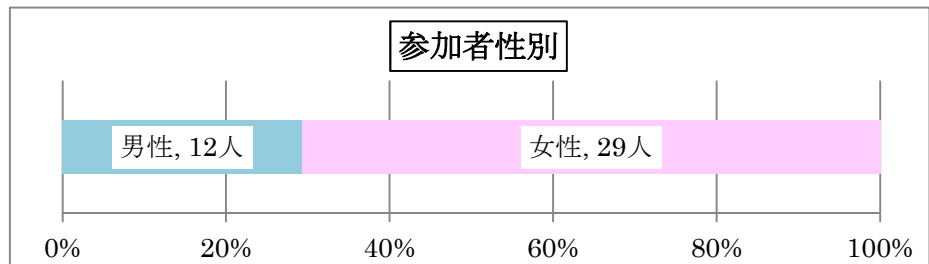
◆参加者72名 うちアンケート回答数66名

1. 参加者の年齢・性別

年代	人数
10代	2
20代	6
30代	5
40代	10
50代	11
60代	5
70代	2
アンケート提出者	41
参加者合計	66



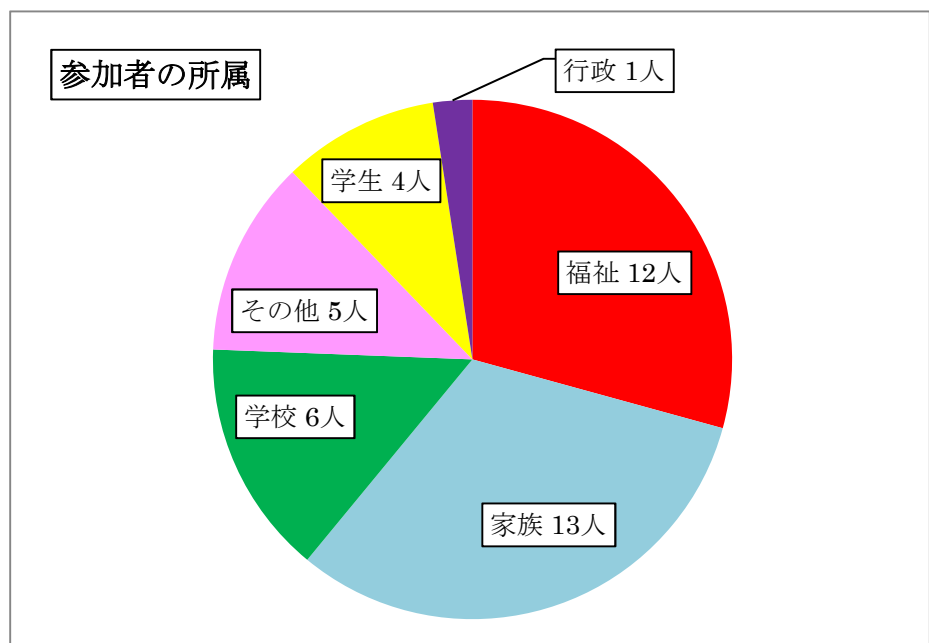
性別	人数
男性	12
女性	29
アンケート提出者	41
参加者合計	66



2. ご所属等

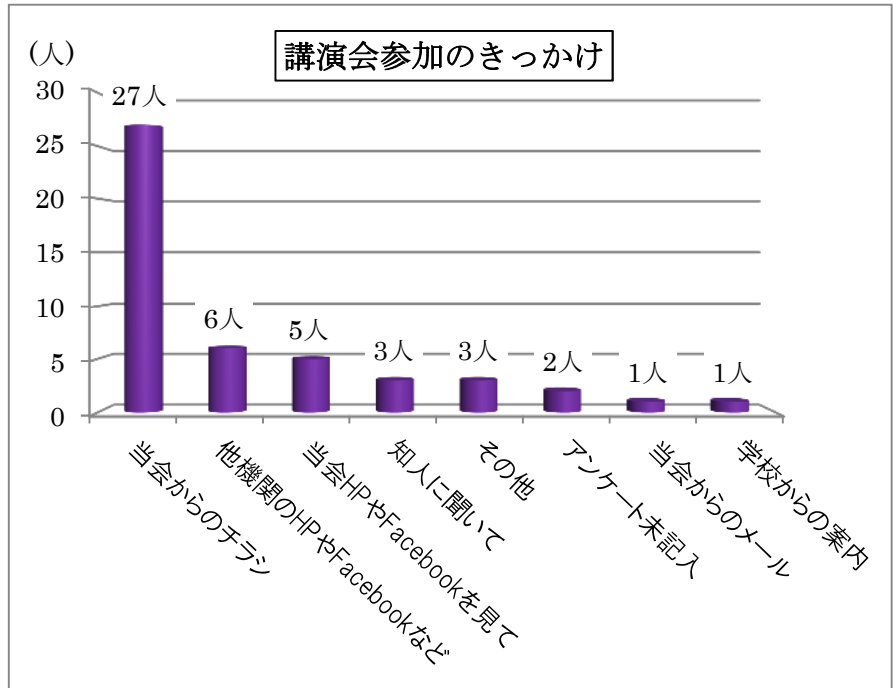
分類	人数
福祉	12
家族	13
学校	6
その他	5
学生	4
行政	1
アンケート提出者	41
参加者合計	66

〈その他の内訳〉
元支援員、支援団体など



3. 講演会を何でお知りになりましたか？

参加のきっかけ	人数
当会からのチラシ	27
他機関のHPやFacebookなど	6
当会HPやFacebookを見て	5
知人に聞いて	3
その他	3
アンケート未記入	2
当会からのメール	1
学校からの案内	1



4. 感想

★以下の項目を尋ねています。

- ①基調講演 ～すべてのこどもに希望に満ちた教育を～ を聞かれて感じたことなど
- ②対話の時間を聞かれて感じたことなど
- ③現在「インクルーシブ教育」に関してあなたがお感じになっていること、嬉しいこと、困っていることなどありましたらお書きください。
- ④その他、日頃考えていること、当会へのご意見等何でも結構です。あればお書きください。

【20代女性・家族】

- ① 障害のある・なしにかかわらず、人に希望をもたせるという事はとても大切なことだと思いました。そして、その人が必要とされていると感じることも同様に大切だな、と思いました。
- ② お二人のすばらしい先生方のお話がきけてとてもよかったです。
初めてきくお話も多くあり、とても興味深い内容でした。
私は社会人1年目なので、もっとこういう講話に参加して、いろいろな話をきいていきたいと思います。
- ③ 障害あるなしにかかわらず、共にくらせる社会になってほしいと思います。
私は兄が障害をもっていたので、一緒に成長してきて、私自身とても成長しました。
障害がある人からもたくさん学べる事があります。それに多くの人が気づいてくれるとうれしいです。
- ④ 今回の講義はとてもためになりました。私自身、障害の兄がいたので、障害について考えている方がこんなにいること、こんなにもよりよくするために働いている人がいることがうれしいと共に、私もまだまだ頑張ろうと思いました。ありがとうございました。

【40代女性・家族】

- ① インクルーシブ教育の向かう方向性が「共に学ぶ」とうたいながら、差別的ではない（障がい者差別解消法に基づいて）安心・安定を保障した分離教育を勧めているように感じてならなかった。
「交わり合う」を促すマンパワーやしきみ作りが、今の現状ではおそまつなのだろうと思ったし、所長も課題意識を持っているのだろうと感じた
 - ② 本音の部分や教育の課題について話しがきけたのは良かった。
少数派の立場に括られて、完全に分けられた差別的な意識から抜けられない観念的なものが根づいていたように思う。まだまだ課題は山積みではあっても「共生に向けていこう」とする意識改革が行われる時代になってきているのだと感じている。親の意識の持ち方、促し方も重要な要素だと思う。
 - ③ 他力本願、教員者や組織に文句を言ってばかりではなく、親もまた学んでいく必要があると改めて感じた。
 - ④ 合理的配慮は「対話」から成していけるものだと思われ、親も意識することも重要だと思った。
-

【50代女性・家族】

- ① 共生を理想とされながらも特別支援教育にオプションが必要と考え、障がい児の教育を大切に思われている先生の想いがよくわかりました。では、共生の部分で進めようとしていることはありますか？
 - ② 方向性はそれぞれでも熱い想いで活動されている先生方のことがすばらしいと感じました。
 - ③ 地域の学校の中に支援学級がととのってきましたが、学校間格差はどうしても生じると思います。その格差ができるだけ小さくなるように、システムがととのってほしいです。
 - ④ 大人が大人の都合で教育するのではなく、子どもがほんとうに大切な経験ができる教育であってほしいと思います。
-

【50代女性・その他】

- ① いいお話ありがとうございました。森先生のイメージするインクルーシブ教育を学校現場の管理職・職員が共有するためにはどうしたらいいのだろうと思いました。実現に向けてのバリアになっていると感じます。
 - ② 権利条約は一般教育制度から排除されないと思えるべきだったと思っています。（わざとだと思えます）通常の学校・学級を基本として、オプションとして特支学校・学級を選べるようにしていきたいと思いました。
 - ③ 特別支援学級の子が普通学級でお客さまとしてではなく、なかまの一員としているために、まず五十音順の名簿に入っていることってとても大切だと思います。あたりまえになったらいいと思います。たかが名簿されど名簿。子どもと共に学級担任の意識が変わります。
 - ④ 学校で解決できないとき、こんなことで困った・・・どうしようもないのだろうか・・・という親のかけこみ寺的な相談の場があればいいと思います。
-

【50代女性・福祉関係】

- ① 新聞に掲載されていた「教員の減少」の記事と「特別支援学校新設」の記事を目にしてあきれたと言っていいほどガッカリしました。介護保険、総合支援法をとっても地域の力を再構築している最中、地域で子供を育てることは別問題なのではないでしょうか？
- ② 地域の小学校・中学校の現場の先生のどのくらいの方々がインクルーシブの意味を理解しているのか、

頭にあるのか…研修を重ねて方向性を作らなければ。「時代」のせいではありませんよ!!

- ③ 教育の意識の改革が一番遅れそうですね。あまり期待せず、熱心な、気付ける、子どもを愛する大人が
タッグを組むしかないようですね。ありがとうございました!!
-

【50代女性・家族、学校関係】

- ① 森所長の経歴・経験されたことが、実践してこられたことなので、納得できる内容で感激致しました。
- ② 共生教育において、先生方のモチベーションの問題があったことに教育現場の影を痛感しました。
特に新任の際の指導教諭のモチベーション(素質!?)ってとても重要に思います。
- ③ 就学相談において、特別支援学校判定の子どもが、特別支援学級に親御さんの気持ちを最重視されて来
られているケースがあると思いますが、地域の学校で数少ない先生で、本当に特別支援教育がなされる
か不安に感じます。先生方のチームワークはとても必要に思います。
- ④ 放課後デイサービスの需要が多く、業者の参入がどんどん増えています。本当に増やす必要があるのか、
利用の規定をもう少し厳しくするべきではと思っています。(低学年の利用は本当に妥当なのか?親と
のかかわりの重要性をもう少し啓発する必要があると思います。)
-

【40代男性・学校関係】

- ① 具体的な例をもとにお話をしていただいたので大変参考になりました。特別支援教育は、教育の原点だ
と思います。我々教員は、さらに研鑽を積んで、特別支援教育を推進していかなければならないと感じてい
ます。
- ② 特別支援教育を推進していくためには、やはり教員の質の向上が図られるべきだと思います。教員の子
どもへの関わり方がよくなく、二次障がいとなるケースもなきにしもあらずです。だからこそ特に通常
級を担任している先生方には、特別支援に対する理解を深め、勉強をしていくべきだと思います。
- ③ インクルーシブ教育によって、さらに障がい者理解が進むと思います。どんな人でも安心安全にくら
していける世の中にするには、インクルーシブ教育は必要だと思います。
-

【20代男性・学生】

- ① どんな小さなことであっても、希望を与えること、希望を見つけることが大事だと感じました、
- ③ インクルーシブ教育は、子どもだけでなく大人、家族にとっても、必要なものであったと改めて感じま
した。
- ④ 今後、教員として働く中で、今回の講演で感じたことを実践していきたいと思います。
-

【30代女性・家族、福祉関係】

- ① 日本ではみなと同じ、そこから外れる者は、排他的な事と思っていたので、みなと同じにできないなら、
初めからそこに入れる必要はないという考えが多かったと思う。でも今日の講演を聞いて、障がいがあ
ろうとなかろうと個々の教育がされる事で以前の考えがなくなり、すみよい生きがいやきぼうがもてる
人生を将来送れると思う。希望が私に持てた。
- ③ 個々に合った教育はすごくありがたいが、できない事もどんどんチャレンジさせて取得に向けてほしい。
配慮される事で学びがどんどん増え、経験が増える。
- ④ 子どもたちは保護者、学校の人たち、地域の人たちで育てる支援をしていく事で、してもらい、その
子の事を分かってくれるので、住んでいる所で安心して生活できる。(例；バスにのってどうこうする

子があります。バスの運転手、一緒に乗る地域の人。もし、いつもと違う行動やいかなかったら心配でき、すぐそうさくにつながる等…)

【50代女性・学校関係】

- ① とてもわかりやすく、先生の人柄が伝わる講演でした。
 - ② なかなかこういう場では出てこないような率直な話が出てきて、とてもおもしろかったです。専門学校の教員も全く同じで、多忙を言い訳に自己研鑽しない人も増えています。それでは自分たちの教育の質は向上しない…とこいつづけていこうと改めて思いました。
 - ⑤ 「アクティブラーニングは教員に求められている」→その通りだと思います!! 小関先生のe a tとMVPのはなしもとても共感できました!!
-

【40代男性・元支援員】

- ① 「ほめる」ことが大切であることは感じていましたが、その視点が狭くなり個々に応じた「ほめる」の発想がまったく浮かんできませんでした。これは障がいがあるないに係わらず、子供を育てる上でとても重要なことなので参考になりました。
 - ② 「対話の時間」に時間をかけるより、質問に対する回答から対話形式にうつり、話をふくらませていくとよいと感じた。
 - ⑥ 障がいのある、幼児・児童・生徒、及びその保護者に対する支援の取り組みや実績、今後の課題・目標はおおよそ理解できましたが、インクルーシブ教育の現場には障がいを持っていない幼児・児童・生徒がいて、その保護者がいます。共生ですので、その障がいを持たない方へ理解を持ってもらうため、若しくは理解を深めるためにはどのような取り組みをされているのでしょうか？その理解が深まらなければ、就労することになった場合、職場で経営者・同僚との間にまさつがうまれ、2次障がいがおきたり退職したり、うまくいかない最大の要因になっていると思います。
-

【30代女性・福祉関係】

- ① 「お仕事を頑張りたい」という想いのある親御さん（多忙）と「もっと子どもと関わる時間や外の刺激が必要では」と思われる子どもさんのバランスのとり方はどうしたらいいんだろうと気になっています。医療ケアが必要な子どもたちの就学についての会があればぜひ参加したいです。
-

【30代男性・福祉関係】

- ① 森先生の実例を交えながらわかりやすく終始なごやかな雰囲気できく事ができた。
 - ② お二人の考え方をわかりやすく説明していただきとても勉強になった。特に管理の面でのお話が参考になりました。
 - ③ まだまだ動きだし発展途上のシステムではあると思う。これからの現場でもっともっと実践され、とぎすまされていくと思う。
 - ④ 今日は貴重なお話ありがとうございました。
-

【10代女性・学生】

- ① 地域での関わり、特別支援学校の今の現状を理解することができました。今後の課題や改善していかなければならないことはまだ多くあると分かり、どのようなことをしたら良いか学んでいかなければなら

ないと思いました。

- ② 地域の連携、他職種の連携が今後最も必要になってくると感じました。
 - ③ 障がいのある人ない人が共に学ぶことは、関わりを持つことができるので良いと思いますが、多様な学び場を多く設ける必要性があると思いました。
-

【50代男性・家族】

- ① 具体的事例をまじえたお話で大変参考になりました。もう少し、時間をかけて聞きたかったと思います。
 - ② インクルーシブについて理解を深めることができました。
 - ③ 東区香椎浜校区に居住し、娘は校区外の多々良中に通っていますが、小学校当時と変わらず、校区自治協や公民館、自治会に受け入れていただいています。
困っていること⇒発達障害への理解は広がっているものの、一方で偏見があることも事実。Onlyoneが活かせる社会になればいいと思っています。
 - ④ 本日は大変有意義でした。協会の方には細目にメールやお電話をいただき感謝しています。娘（中2）が発達障害と知的障害を持っています。今後も関わりのもてる講演会の案内やその他の親の会などの情報提供が欲しいと思います。
-

【30代男性・福祉関係】

- ① 学校に上がり、意識レベルの違いをよく感じています。教育・福祉を切り離して考えていたり、学校内で完結する支援をされているように感じています。制度もしかし、まずは一歩、我々も踏み出して行かなければと感じます。
 - ② 北九州で、親の会に参加し“インクルーシブ教育”について学んでいます。そして学校へ働きかけをし、支援学級にいても普通学級で学べる時間、支援級の先生以外にも“障がい”と“配慮”を理解してもらえるよう動くようにしています。
-

【50代女性・福祉関係】

- ① 子ども達に携わる者、教員、周りの大人がその子のことを理解し、優しく接することを再確認しました。子ども達を見る目、そしてその課題に対し適切にかかわっていけるよう、今後も精進していこうと思いました。
 - ② 具体的な話、先生方の理念等がきけて勉強になりました。
 - ③ 平和な社会を目指す上で、とても大事なことだと思います。合理的配慮のもとみんなが幸せに暮らせる社会を作りたいと思います。
 - ④ このような研修にお誘い頂きありがとうございました。今回聞いたことを職員や保護者にも伝えていきたいと思えます。
-

【30代女性・学校関係】

- ① 自分の日々の教育を振り返りながら反省をしていました。
また、コーディネーターとしてすべての子どもたちに希望の光となるようなことをコツコツとしていきたいと思いました。
- ② 「教員自らがアクティブラーニングを」ハッとしました。意識したいと思います。
- ③ 「支援学級」への保護者の考え方がおだやかになってきたことはうれしいのですが、どんどん増え続け

る個別支援への人手不足（専門性も人数も）を感じています。

- ④ 今回初めて参加しました。前向きにがんばれそうな気がしてきました。3学期ものりきれそうです。ありがとうございます。
-

【50代男性・その他】

- ① 前半は福岡市の自慢話にしか聞こえませんでした。後半は聞くべき物が多々ありました。前半は志を語ってほしかったです。
 - ② 教員免許を取った後の人材育成。教師≠人格者。教師の数を増やし、研修の時間が取れる様になれば…
 - ③ 特別支援教育、共生教育をともに語る専門家が少数しかいない。職員を指導出来る人材作りが早急に必要だと感じています。
 - ④ 障がい者に関する仕事を始めようと思っております。グループホーム(高齢者・障がい者)+障がい者を雇用する事業(高齢者向けデイケア他)
今後もこの種のセミナーに参加します。『アクティブラーニングは子供達ではなく教員に必要である』
⇒名言です。
「親亡き後も永遠に続く障害のある人の幸せな暮らし」頑張りましょう。
-

【40代女性・家族】

- ① ほめ方を工夫していますか？というところ、やはり勉強になりました。つつい指定・注意ばかりになりがちなので。
大人でも子供でも目標を持って生きることの大切さを感じることが出来ました。
 - ② 「チーム学校」とか「ケア会議」の話とか役に立ちました。
-

【40代女性・その他】

- ① 自分の我が子に対する言葉など反省することが多かったです。学校でも森先生のような先生が増えていき、1人でも多くの子どもたちが生きやすくなって欲しいと思いました。
 - ② とても勉強になりました。
 - ③ 「みんなの学校」が理想ですね。
-

【20代女性・学生】

- ① 学校では習っていないことを、現場で経験された森先生の話を書き、とても勉強になりました。ほめることって簡単なことのように見えて難しいんですね。自分も現場にたつまでほめる言葉を増やしていきたいです。
 - ② 自分の質問で実習の不安がなくなりました。しかし、大学でも座学の方が多く感じるのも、もっと子どもと関わりたいなと思いました。そして自分がアクティブラーニングをしようと思いました。
 - ③ 1人ひとりのニーズに合わせた教育だと思います。
 - ④ とてもためになる講演でした。特別支援教育を学んで2年になりますが、まだまだ自分は勉強不足だなと思いました。学校に戻って、もっと学ぼうと思います。ありがとうございました。
-

【50代女性・家族】

- ① 森先生の教育に対する…子ども達に対するあつい想いを感しました。とても嬉しく感じます。あつい想いをもった先生が増えるといいなあ～と思いました。
 - ② とても分かりやすかったです。充実した時間をありがとうございました。
 - ③ インクルーシブ教育に関して…様々なハンディキャップをもつ人が先生になることが、インクルーシブ教育をすすめるために必要な事のように感じます。先生方が共に働くことで「インクルーシブ」の肌感覚が高まるように思います。
 - ④ 通常学級に通う、知的に問題のない発達障害の子ども達がさらに理解され、必要な教育をうけられるようになれば・・・と思います。親も先生も気づかず苦しんでいる子ども達が減っていく事を願っています。
-

【20代女性・福祉関係】

- ① 別の講演会で肢体不自由の子どもと通常学級在籍の子どもが共に活動する時間を設定したことにより、相互に良い影響があったという事例からインクルーシブ教育に関心を持ちました。その中で、本講演では「ふくせき制度」の重要性・必要性を感じました。また、支援者の「ことば」1つで子どもの「やる気」「希望」に大きく左右することを改めて感じ、日々の自分自身を振り返るきっかけとなりました。
 - ② 児童発達支援センターに勤務して2年目になります。まだまだ経験が浅くはありますが、福祉の現場で働く1人として職員の年齢層について課題を感じていました。ベテランの指導者と福祉と教育、どちらにも言えることだと共感しました。
 - ③ 通常級でも適応できるであろうお子さんの保護者が支援学級を希望するなど、職員と保護者のとらえかたの相違を感じるがあります。
-

【40代女性・学校関係】

- ① 最新の情報を教えて頂き、大変ありがたかったです。子どもへの具体的な支援方法を教えて頂き、大変ありがたかったです。失敗だったことも教えて頂き（支援方法、ことばかけ）大変参考・勉強になりました。
 - ② 保護者（服部代表様）の方々のお気持ちや、森先生・小関先生の具体的なお気持ち、考えが分かり大変意義深かったです。ありがとうございました。
 - ③ インクルーシブ研究会になかなか出席できないことが困っていることですが、インクルーシブ研究会のますますのご発展をお祈りいたします。服部代表様の開催する講演会は非常に勉強になり、有難いです。
 - ④ 大変貴重なご講演を誠にありがとうございました。今後ともどうぞよろしくお願いいたします。
-

【60代男性・家族・支援団体】

- ① 福岡市の支援学校や支援学級の実態が良くわかった。特別支援教育の専門性については、実体験に基いたとても分かり易いお話で、すべての支援学校、支援学級の先生が森所長であれば、どんなに子ども達も保護者も安心して通わせられることでしょう！
- ② 森所長や小関先生の本音の話が聞いて本当に良かった。各学校の先生方をインクルーシブ教育に対して深く理解されるには、保護者からの強い想いかもしれません。本日の対話はもっと多くの先生方に聴いてほしかったものです。
- ③ 森所長もお話されていましたが、支援学校高等部での就労率への拘りでなく定着率の向上を目指していただきたいものです。ご理解（障がいに対して）が厳しい受入れ先の企業では、お互いにストレスが溜

まるだけですよね。

- ④ 相模原障がい者施設での残忍で残虐な大量殺人事件は人災だと強く思っています。未だ半年も経過していないのに、マスコミの露出もなくなり風化させている現実を鑑み、福岡で起こさないようにする行政・福祉・司法・医療・教育・地域等の早期ネットワーク構築が必要だと感じています。福岡の人にも植松被疑者のような人はたくさんたくさん闇に潜んでいますよね。セミナーや講演会は、不登校や虐待、いじめ等のテーマ開催もインクルーシブ的にはあっても良いかもですね。
-

【20代女性・福祉関係】

- ① 具体的なほめ方、言葉かけのお話がとても良かったです。実践してみたいと感じました。
- ② 子どものために、ケースカンファレンスの時間をしっかり設けていきたい。セミナーや研修に積極的に参加して、学んでより良い療育ができるよう努めたい。
-

【50代女性・学校関係】

- ① 専門性を向上させたい意欲をもつことと、現場の環境に差があると思いました。ほめ方の工夫のお話、考え方、大変参考になりました。
- ② 支援する立場にある人に、ひとりひとり「インクルーシブ教育」についての理念を自分のものにしていくには、モデルとなる人と環境（これにつきます。）が必要と思いました。
- ④ ありがとうございます。有意義に過ごせました。
-

【70代女性・福祉関係】

- ① 私も子育てをしてきましたが、「ちゃんとしなさい」「いいかげんにして！」etc…子供に判る筈がない言葉で叱っていたなと思いました。相手が理解できる言葉で伝えるのがコミュニケーションの基本ですね。今頃気づいても遅すぎますが、勉強になりました。孫と話すときに気を付けたいと思います。
- ③ 私の世代は特殊学級はなく、クラスに1人程度の障害のある方が一緒に学んでいました。今思えば、それがあたり前の事だったのだと感じています。私としては良い時代に育ったと思います。
-

【20代男性・福祉関係】

- ① 森先生の講演を聞いて、まだまだ教育に対する問題は山積みである事を改めて感じました。教室不足の問題や、教員の質（医療的ケア面）など、少しずつでも改善できるといいなと思います。又、地域の一員として、子どもと関わる人間として、関わり方、配慮等勉強になりました。
- ② 教員の質につきましては、学校教員に限らず、子どもに関わる身として考えさせられるものとなりました。
- ③ まだまだ現在進行形のインクルーシブ教育システムなので、社会への周知をもっともっとしてほしいです。共生の為、学ぶしくみが進歩していけばいいと思います。
-

【40代女性・家族】

- ① やる気をなくす言葉を全て子供に言ってしまっている事に気づかされました。
- ② 家族ごと孤立しているように感じる事があります。しかし今日力強い言葉をいただき、がんばってみようと思いました。
-

【10代女性・学生】

- ① 地域での教育の在り方を知れました。また生徒とのかかわり方でどう育つか変わっていくのだと知り、一番心に残りました。
 - ② 他職種との連携でケアがよくなると感じました。地域によっていい所とまだまだな所があると思いました。いい所の良い点を広げていけたらいいと思いました。
 - ③ 私の地元では障害を持った人が普通クラスにいたり、遊んだりということがありました。当たり前だと感じていましたが、今後は意識的に取り入れていく必要があると感じました。
-

【40代男性・学校関係】

- ① 希望ややる気を持たせる言葉かけ「おつかれ様」や「ありがとう」の部分が特に心に残りました。
 - ② 4.の基調講演とも内容が濃く、今後じっくり見直し考えていきたい。
 - ③ 1つ1つ少しずつですが、自分自身を高めていきたいです。
 - ④ 今日は勉強になりました。ありがとうございました。
-

【50代女性・家族】

- ② 二人の方々から生の声を聞くことができとてもよかったです。
 - ③ 子どもはずい分と大きくなってしまいました。小さな頃にこのような教育システムがあったらよかったのと思っています。
 - ④ 毎回素晴らしい企画をありがとうございます。これからの期待しています。
-

【70代女性・家族】

- ① 個々の対応も知ることは大切だと思いますが、このような場ではもう少し違った視点からインクルーシブを考え、社会の中で生きたものにする取り組みが必要ではないかと考えます。
 - ② 担任と保護者の連携。いい関係は子ども等にも良い影響を与えられたと思います。「親が教師を育てる」は先輩からいつも言われていました。学校の中で医ケア対策に奔走して下さった先生がいらしたことに感謝です。
 - ③ 市の教育委員会との懇談会で、昔、地域の学校と養護学校の両方に籍置き、日頃は養護学校に行くけれども、地域の学校の所属クラスでは毎日名前を呼び、そのクラスの一員であることを子どもたちに認識してもらおう、との提案をしたことがあります。今もこれは二重籍だと断られますか？
 - ④ こうやって一堂に集い、お話を聞くことも意味があるのかも知れませんが、世間は遠い気がします。そこが問題。インクルーシブ教育とつくので、学校に片寄るのでしょうか。社会の悪気のない偏見とか、悪気のない排除という表現はなるほどと思って聞きました。
-

【40代男性・その他】

- ① わかりやすい。現状の問題点の整理・分析、それらを踏まえた上での今後の指針が示されている。できれば、それぞれの問題点と指針について、今後詳しく聞いてみたいと思う。非常に有意義で参考になった。
 - ② 教員の人材育成、組織についてなど、それは教員だけではなく企業も同じです。非常におもしろく有意義でした。ただ社会人として組織で働いたことのない人には、少々難しかったのではないのでしょうか。
-

- ④ インクルーシブ教育の必要性は常に感じています。それを実現、推進するための法整備の必要性もさらに感じています。福岡市に障がい者差別を禁止する条例の制定、その運用に少しでも貢献できればと思っています。
 - ⑦ 頑張ってください！応援しています。
-

【60代女性・行政関係】

- ② 学びになりました。
-

【60代男性・家族】

- ① 福岡市の特別支援教育の現状や特別支援教育における考え方がわかりました。
 - ② 個別の状況について、詳細な内容を聞いてよかった。
 - ③ 「インクルーシブ教育に関する情報」をもっと知りたいと思います。
-

【40代女性・行政関係】

- ① わかりやすく特別支援教育についてご説明いただき、よく理解できました。
-

【60代男性・福祉・学校関係】

- ① インクルーシブの基礎を学ぶことができました。
 - ③ 今後広がることを願っています。家族をも支える社会
-